

教育ニュース「三元 夢求」 No.19

平成 23 年 1 月 17 日

広島市立吉島小学校

今年、「兎の上り坂」といわれる卯年。教育ニュースは、児童の学習や生活場面での成長・努力の姿などをお知らせしている広報紙です。新しい年を機会に、今号より広報紙名をかえました。その名は「三元 夢求（無休）」です。これは、この一年、次のことを願い名付けたものです。

- ①頭が元気、体が元気、心が元気な一年に（元気が無休な年に）！
- ②頭が元気、体が元気、心が元気で、夢を追いかめられる一年に！

そのために、新春早々、新しく取り組んだものが、「なわとび週間」です。この 11 日～14 日、大休憩の時間、全校で一斉に、1 分間跳び（児童個々が自ら設定した縄跳びの跳び方にチャレンジ）を 2 回、縄跳び体操ともいえるリズム跳びを 1 回行うものです。なお、このリズム跳びは 2 月にも数回行う予定です。



この週間の実施にあたっては、体育委員会（5・6 年児童）の模範跳びを収録したビデオ放送があり、児童のチャレンジ意欲を高めてくれました。加えて、児童に負けまいと一諸に縄跳びに汗を流す師弟同行の先生の姿もあります。今、児童のなかにも「縄跳びの師」がどんどん生まれています。

一口メモ「縄跳びの効用」

縄跳びは継続することにより、体の調整力、持久力などがつけられる全身運動、有酸素運動で、
例えは、前回り跳びを 1 分間に 60 回～100 回程度することによりその効果が高まるといえるでしょうか？ ご家庭でも「縄跳びの日（時間）」を

＜練習例ポイント＞
①二重跳びができるコツ
②一回跳びよりほんの少し高めにジャンプする
③膝を曲げすぎない

練習方法例
・「手打ちジャンプ」縄をもたず、ジャンプして胸の前で 2 回手を空中でたたき、ターン、ターンのリズムを意識できるように。
・「ロープ空打ちジャンプ」縄を 2 つ折りにして片方にもら、1 回のジャンプで 2 回軽させ、床に打ちつける。
左右交互に 10 回ずつする

対話力や説明力を駆使し、発見・納得できる学びで、頭を元気に

確かな学力を身につけるために、これまで以上に、「読む・聞く・話す・書く」とともに、「論理的に考える、豊かに感じる・表す」といった力をはぐくむ営みが重視されています。本校では、学習の過程に拡大提示装置や大型テレビなどの視聴覚機器を活用しながら、自分の考えなどを発信する機会を充実させる取り組みに、より力を注いでいます。

例えば、4 年生の国語の時間、説明的な文章「くらしの中の和と洋」の本論の文章構成を班で考え、発表し、構成の特徴をつかむ学習。

小段落の文章の内容を要旨にまとめその関連から本論全体の文章構成を考える班、「まず」「次に」などの文頭の言葉から考える班、文章によくでてくることばから考える班などなど。

これらの根拠をまとめた資料をテレビ画面に写し説明を加えることにより、どの班の説明も説得力があるとともに、文章構成の特徴をみつける「ひきだし」が増え、それに発表に対する質問があり反論がありで、納得し合うことのできる学習を営んでいる様子。それはきらきら輝く児童の目にも表れていました。



